

抗MOG抗体 (Live CBA法) 半定量 受託測定のご案内

MOG 抗体関連疾患とは※¹

(MOGAD ; myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody associated disease)

中枢神経系炎症性脱髄疾患の 1 つです。髄鞘構成蛋白の 1 つ MOG に対する自己抗体（抗 MOG 抗体）を有し、視神経炎・脊髄炎・視神経脊髄炎（NMO ; neuromyelitis optica）・急性散在性脳脊髄炎（ADEM ; acute disseminated encephalomyelitis）・脳幹脳炎・大脳皮質脳炎など多彩な症状を呈する疾患群を含んだ概念です。

【抗 MOG 抗体 Live CBA 法の特徴】

- 東北大学より技術移管※²された IgG1 法を採用
- 診療ガイドライン 2023※¹において特異性に優れた測定法と記載
- 脳脊髄液(髄液)での検査も可能

※¹（参考）「多発性硬化症・視神経脊髄炎スペクトラム障害診療ガイドライン」作成委員会：「多発性硬化症・視神経脊髄炎スペクトラム障害 診療ガイドライン2023」

※²（注意）東北大学と完全同一のアッセイ法ではありません。技術移管の際に、専門医のご意見のもと、特異度が高いとされるIgG1法を採用しております。

「半定量」検査とは

血清 16 倍希釈・髄液 1 倍で陽性と判定した場合、以下の希釈倍率のいずれか（陽性と判定した最大値）を抗体価として報告致します。

血清 16 倍希釈・髄液 1 倍で陰性と判定した場合、判定結果は「陰性」となります。

<希釈倍率>

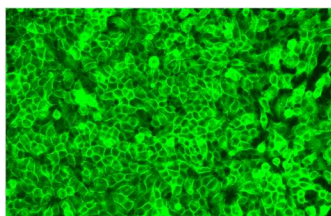
■ 血清 : 16倍※³、64倍、256倍 ■ 髄液 : 1倍※³、4倍、16倍

※³（注意）従来の「定性」検査時の希釈倍率です。

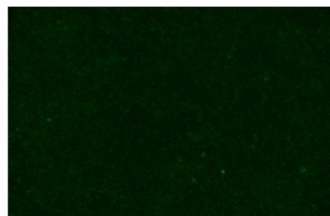
【報告例】

髄液 1倍(陽性)、4倍(陽性)、16倍(陰性) という結果の場合、〔報告値〕 4 倍(陽性)

抗 MOG 抗体 陽性例(髄液)



抗 MOG 抗体 陰性例(髄液)



◆受託測定の流れ・注意事項◆

項目名	測定料
抗 MOG 抗体 (Live CBA 法)半定量	36,000 円 (税込 39,600 円)

◇ご報告

弊社に検体が届いてから**15営業日以内**でご報告いたします。

◇材料及び必要量

血清又は髄液 500μL

採取後、-10℃以下の凍結にて保存してください。

◇発送方法

弊社HPから測定の申込みを行った後、申込書を同封し、検体は**凍結状態で弊社に到着するように、ご発送**ください。

検体到着は、平日 月曜日～金曜日の午前中着指定をお願いいたします。

◇注意事項

お預かりする検体は、原則、検査終了後に廃棄いたします。弊社にて保管いたしかねますのでご了承ください。

患者名等の個人情報に記載されている場合、受付をお断りする場合がございます。

通し番号等暗号化処理をした上でご依頼頂くようお願いいたします。

本検査は研究を目的とした検査の為、検査結果を診断に使用することはできません。また、保険請求することもできませんのでご注意ください。

随時、受託測定を承っております

検索はこちら

<お問い合わせ先>

株式会社コスミックコーポレーション 営業部
E-mail:cc@cosmic-jpn.co.jp